

報道関係者各位

プレスリリース

2026年4月27日

株式会社エクスナレッジ

建築知識ビルダーズ編集部

脱炭素と地域・社会の課題解決を両立する建築を募集

「第1回日本エコ建築大賞」応募受付スタート

個人住宅以外・延床面積1,000㎡以下の建築実例を対象とした新たなコンテストを創設

住宅専門誌『建築知識ビルダーズ』（株式会社エクスナレッジ発行）は、脱炭素と地域・社会の課題解決を両立する建築実例を顕彰する新たなコンテスト「第1回日本エコ建築大賞」を創設し、応募受付を開始しました。

「日本エコ建築大賞」は、延床面積1,000㎡以下で、個人住宅以外の建築物を対象とした実例コンテストです。店舗、事務所、宿泊施設、教育・福祉施設、地域拠点、複合用途の建築など、小規模でありながら、環境性能と社会性を兼ね備えた建築を広く募集します。

本賞は、これまで「日本エコハウス大賞」の一部門として実施してきた「小規模施設部門」を独立させ、新たな賞としてスタートするものです。

近年、建築分野には、省エネルギー性能の向上や再生可能エネルギーの活用といった脱炭素への取り組みに加え、地域資源の活用、地域コミュニティの再生、働く人や利用者のウェルビーイング、事業としての持続可能性など、多様な視点が求められています。

特に小規模建築は、地域の暮らしや産業、まちづくりと近い距離にあり、建築の工夫が社会や地域に直接的な影響を与えやすい領域です。日本エコ建築大賞では、単に環境性能の高さを競うだけでなく、建築が地域や社会にどのような価値を生み出しているかを総合的に評価します。

審査では、環境性能、ウェルビーイング、地域循環、計画と事業性、デザイン・空間の質などを重視。これからの時代に求められる建築のあり方を示す、優れた実例を発掘・発信していきます。

『建築知識ビルダーズ』は、本賞を通じて、脱炭素社会の実現に貢献するとともに、地域に根ざした建築の新たな可能性を広く共有してまいります。



第1回 日本エコ建築大賞

Japan Eco Architecture Award 2026



「脱炭素」と「課題解決」を両立する建築を募集します。

■開催概要

第1回のテーマは、「地域を豊かにするエコ建築」です。

環境性能だけでなく、利用者のウェルビーイング、地域資源の活用、事業性、建築としての魅力や美しさまでを含め、これからの時代にふさわしい建築を総合的に評価します。

■募集要項

応募資格：地域工務店・ビルダー、設計事務所、ハウスメーカー、リフォーム会社などの建築実務者

応募対象：2022年1月以降に完成した、個人住宅以外・延床面積1000㎡以下の建築物。賃貸住宅、地域開発（分譲・建売・長屋など）、宿泊施設、オフィス、教育施設、クリニックなど、事業の持続性がある建築物やプロジェクト

応募締切：エントリー受付締切 2026年7月3日（金）

応募資料提出締切 2026年7月10日（金）

審査の流れ：書類選考／設計審査／ノミネート作品発表／最終審査（JAPAN ECOHOUSE BIG SHOW〈JEB〉での公開審査）／シンポジウム&表彰式

■審査員

前 真之 氏／東京大学大学院 准教授

大島 芳彦 氏／ブルースタジオ クリエイティブディレクター

西田 司 氏／建築家

■評価項目

1：環境性能

2：ウェルビーイング

3：地域循環

4：計画性・事業性

5：魅力・美しさ

■主な賞

グランプリ / 優秀賞 / 協賛企業賞 / 特別賞 /

■協賛

旭化成建材 / デコス / マーベックス / LIXIL / YKK AP

公式サイト：<https://ecoken-award.jp/>

Instagram：<https://www.instagram.com/japanecohouseaward/>

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/profile.php?id=61556584044475>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社エクスナレッジ

「日本エコ建築大賞」事務局

担当：中川

TEL：03-3403-1343

MAIL：builders.ecohouse@gmail.com